



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所

上場取引所 東

コード番号 6125 URL <http://www.okamoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 常路

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 高橋 正弥

TEL 027-385-5800

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,768	1.5	300	42.9	210	53.2	87	74.7
2019年3月期第1四半期	6,871	21.1	526	409.1	450	557.8	346	823.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 51百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 313百万円 (180.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	21.86	
2019年3月期第1四半期	82.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	36,668	12,265	33.5
2019年3月期	36,627	12,557	34.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 12,265百万円 2019年3月期 12,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		40.00		60.00	100.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		50.00		50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,500	10.8	1,400	1.7	1,300	17.3	1,050	14.2	262.24
通期	36,000	0.2	3,000	23.7	2,850	19.1	2,200	31.8	549.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	4,717,895 株	2019年3月期	4,717,895 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	714,060 株	2019年3月期	713,935 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	4,003,910 株	2019年3月期1Q	4,213,802 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、総じて堅調に推移いたしました。しかし米中貿易摩擦の激化、欧州でのBREXITの懸念などの影響により景気の先行きに不透明感が増す状況となりました。

わが国経済は、回復基調が継続しておりますが、世界経済の減速などを背景に、企業活動に弱さがみられました。

このような状況の中で当社グループは、2021年度を最終年度とする新たな中期経営計画を策定し、「安定した収益を確保できる企業への変革」をビジョンとして掲げ、ダウンサイドに強い安定した収益基盤の強化、持続的成長のための成長エンジン事業作り、OKAMOTOブランドの再構築を目指し、目標達成へ向けスタートいたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は6,768百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は300百万円（前年同期比42.9%減）、経常利益は210百万円（前年同期比53.2%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は87百万円（前年同期比74.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

①工作機械

国内市場におきましては、前期より幅広い業種において受注が好調であったため、売上高は前年同期を上回りました。受注につきましては、工作機械業界や精密金型業界向けに大型平面研削盤などの引合いは続いておりますが、設備投資には慎重な姿勢も見られ前年同期を下回りました。

海外市場におきましては、米国では航空機や医療機器の業種で、堅調に推移しているものの、大型研削盤の受注が減少し受注、売上ともに前年同期を下回りました。欧州では、好調であった前年同期と比較し販売、受注共に減少しました。中国では通商政策の影響もあり、慎重な設備投資により工作機械需要は減少傾向となっており、販売、受注共に前年同期を下回りました。

以上の結果、売上高は5,457百万円（前年同期比1.1%増）となったものの、セグメント利益（営業利益）は販売機種の違いなどにより204百万円（前年同期比40.4%減）となりました。

②半導体関連装置

半導体市場におきましては、中長期的にはAI技術の進化や次世代通信規格5Gといった技術革新とともに、需要の拡大が見込まれているものの、スマートフォン需要の鈍化やデータセンター向け投資の停滞に加え、メモリ向け投資についても調整局面が継続しております。

このような状況の中で当社グループは、ポリッシュ装置や次世代パワー半導体用各種装置の販売増加に向けて、プロセス開発などの諸施策を前期より継続してまいりました。東アジアにおいて、ウェーハ生産用のファイナルポリッシャーやデバイス生産用のグラインダーを販売いたしました。受注につきましては、中国でウェーハ生産用のファイナルポリッシャーを、また国内では精密部品加工の用途でポリッシャーやスライサーなどの受注がありました。

以上の結果、売上高は1,311百万円（前年同期比11.0%減）、セグメント利益（営業利益）は301百万円（前年同期比23.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して40百万円増加し、36,668百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が2,199百万円、現金及び預金が133百万円減少した一方で、たな卸資産が2,106百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して332百万円増加し、24,402百万円となりました。主な要因は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が293百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が169百万円、短期借入金が323百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して291百万円減少し、12,265百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加87百万円、配当金の支払いによる減少240百万円により152百万円減少したこと及び為替換算調整勘定が130百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の34.3%から33.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績につきましては、2019年5月15日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,363	4,230
受取手形及び売掛金	10,329	8,130
商品及び製品	1,954	2,482
仕掛品	5,331	6,915
原材料及び貯蔵品	2,697	2,691
その他	316	450
貸倒引当金	△50	△38
流動資産合計	24,943	24,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,774	3,710
機械装置及び運搬具(純額)	2,525	2,555
その他(純額)	3,462	3,654
有形固定資産合計	9,762	9,920
無形固定資産	76	76
投資その他の資産		
投資有価証券	82	77
退職給付に係る資産	539	588
その他	1,256	1,176
貸倒引当金	△35	△34
投資その他の資産合計	1,844	1,808
固定資産合計	11,683	11,804
資産合計	36,627	36,668
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,085	6,254
短期借入金	6,000	6,323
1年内返済予定の長期借入金	1,180	1,184
未払法人税等	296	52
賞与引当金	409	259
製品保証引当金	52	51
その他	4,471	4,903
流動負債合計	18,496	19,030
固定負債		
長期借入金	3,771	3,473
退職給付に係る負債	744	758
資産除去債務	123	123
その他	934	1,016
固定負債合計	5,573	5,372
負債合計	24,069	24,402

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,880	4,880
利益剰余金	11,023	10,871
自己株式	△3,075	△3,075
株主資本合計	12,829	12,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△4
為替換算調整勘定	△432	△563
退職給付に係る調整累計額	160	157
その他の包括利益累計額合計	△271	△410
純資産合計	12,557	12,265
負債純資産合計	36,627	36,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	6,871	6,768
売上原価	4,600	4,634
売上総利益	2,271	2,133
販売費及び一般管理費	1,745	1,833
営業利益	526	300
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	0	1
助成金収入	0	6
物品売却益	7	6
為替差益	19	—
その他	8	4
営業外収益合計	37	21
営業外費用		
支払利息	62	44
支払手数料	38	3
為替差損	—	43
その他	11	19
営業外費用合計	113	111
経常利益	450	210
税金等調整前四半期純利益	450	210
法人税等	103	123
四半期純利益	346	87
親会社株主に帰属する四半期純利益	346	87

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	346	87
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△5
為替換算調整勘定	△29	△130
退職給付に係る調整額	△1	△2
その他の包括利益合計	△33	△138
四半期包括利益	313	△51
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	313	△51

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

米国を除く海外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表上に資産及び負債として認識しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2018年4月1日至2018年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,397	1,473	6,871	—	6,871
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,397	1,473	6,871	—	6,871
セグメント利益	343	391	734	△208	526

(注) 1. セグメント利益の調整額△208百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,457	1,311	6,768	—	6,768
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,457	1,311	6,768	—	6,768
セグメント利益	204	301	505	△205	300

(注) 1. セグメント利益の調整額△205百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	5,697	70.8	12,783	97.0
半導体関連装置	876	11.5	11,284	68.8
合計	6,573	41.9	24,068	81.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	5,457	101.1
半導体関連装置	1,311	89.0
合計	6,768	98.5

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。